



**6月定例会
県議会**

**子どもを性被害から守るための条例案が可決
「選挙区等調査特別委員会」を設置**

6月16日に開会した6月定例会県議会は、7月1日までの本会議で、大北森林組合等補助金不適正受給事案に係る国庫補助金の返還額等、総額21億円余の一般会計補正予算案や子どもを性被害から守るための条例案など知事提出の36議案を審議、いずれも原案どおり可決しました。

このほか、我が会派提出の地方財政の充実・強化を求める意見書案、議会運営委員会提出の長野県議会選挙区等調査特別委員会設置に関する決議案など議員提出・委員会提出9議案を可決しました。

**子どもを性被害から守るための条例
関係者が主体的な取組を！**

子どもを性被害から守るための条例案は、先の2月定例会にその骨子案が示され、議会において議論を展開してきたところですが、県は、別途取り組んできた県政タウンミーティングやパブリックコメントの意見などを踏まえ、今議会へ条例案として提出しました。

条例案の中で加筆され

大北森林組合等補助金の返還対応で緊急申し入れ

「信州・新風・みらい」は、6月定例会に提出された国庫補助金返還等に係る補正予算について、「補助金の返還に当たり十分な配慮を求める付帯決議」が付され可決されたことを受け、7月1日の定例会閉会后、「大北森林組合等補助金不適正受給事案に伴う国庫補助金返還等への対応について」とする申し入れ交渉を、阿部知事に対し行いました。

冒頭、小島代表は、「予算を認め決定するのは議会だ。責任を強く感じ、委員会に付帯決議を付すと同時にこの意見を申し入れる」と、強い思



いで「申し入れ書」を手渡しました。

これに対し知事は、事実上「捜査権のない県としては、裁判において明らかに成り立っていないとしか申し上げられないが、金額は、精査のもと決定している。職員の新

た内容は、県の責務に「県は、県民運動を尊重し、それを積極的に推進する」こと、その他の項に「子どもを取り巻く社会環境の変化、この条例の施行状況等を勘案しつつ検討・所要の措置を講ずる」などです。

委員会議論では、条例

規採用は、しごと改革の断行とは別に状況を見て判断する」と答えました。

知事には、自ら進めようとしている「郷学郷就県づくり」の主旨に沿う有言実行が強く求められます。

【申し入れの要旨】

- 1 組合からの返還期限7月29日まで厳しく指導を
- 2 債務完済に向け厳正な対処を
- 3 「しごと改革」の人員削減に関し、若い世代の採用削減は行わないこと
- 4 昨年6月定例会の決議に基づき、十分な説明責任を果たすこと

案の罰則は性犯罪を抑止できる明確な根拠がないことや冤罪を生む危険性などの指摘がある一方、予防教育や県民運動の推進など実効性をいかに高めるか、条例の運用状況の定期的な公表が必要などの意見が出されました。

これらを踏まえ採決が行われ、賛成多数で条例案は可決されました。

処罰規定は、11月1日施行になります。

補正予算のポイント

○学びと働きの連携で信州創生の人材育成
6630万円

県内4地区(モデル)に、学校・企業・地域を結びコーディネート配置し、地域を支える人材を育成

○子どもを性被害から守るための取組
915万円

県民総ぐるみで子どもを守り育てる機運を醸成するためのフォーラム・研修会の充実、パンフレットの作成など

○武道振興の中核的拠点の整備
4316万円

柔・剣道場6面設置の主道場、2つの副道場を備えた武道館の設計等を実施

選挙区等調査特別委員会を設置

委員名簿			
委員長	古田英士(自)		
副委員長	高橋 宏(信)		
委員	服部宏昭(自)	萩原 清(自)	
	平野成基(自)	今井 敦(自)	
	小林東一郎(信)	荒井武志(信)	
	宮澤敏文(新)	太田昌孝(新)	
	小林伸陽(共)		
		自由民主党県議団	(自)
	信州・新風・みらい	(信)	
	新ながの・公明	(新)	
	日本共産党県議団	(共)	

本定例会で設置された「選挙区等調査特別委員会」は、7月1日、早速第1回委員会を開催し、「来年12月定例会を目前に、市町村等への現地調査を含め結論を得たい」と確認しました。委員は上記のとおり。

会派 先進地調査報告

(大分県) 3月22日から24日までの3日間、6名が参加し、大分県立新美術館、地熱発電事業、新事業創出支援のためのビジネスプランングランプリ、ツーリズムおおいの取組を調査しました。

大分県立美術館OPAMでは、「五感で楽しむ家のリビング・県民とともに成長する」というコンセプトのもと、敷居の低い美術館を目指してい

るとのことで、老朽化する信濃美術館改築の動きに向け、大いに参考になるものでした。

ツーリズムおおいでは、「平日の湯布院・別府は外国人の街だ」との説明に、インバウンドによる来訪者が急増している状況が伺い知れました。



大分県立美術館内移動壁面の様子を調査

○大北森林組合等補助金不適正受給事案への対応
11億5346万円

補助金不適正受給に伴う国庫補助金の返還(加算金3億5400万円を含む)

○農業生産性の向上
6億3650万円

攻めの農業展開に向け、生産施設や機械の整備、収益性の高い作物の導入等へ総合的に支援

○県議会手話言語普及促進議員連盟を設置

去る3月に制定された「長野県手話言語条例」の趣旨を踏まえ、県議会として、手話に対する関心と理解を深め、手話の普及等に関する施策に協力するため、6月27日、全議員58名の賛同のもと「手話言語普及促進議員連盟」が設立・発足しました。

設立総会席上、岸田障がい者支援課長の指導で「皆さん、こんにちは」程度でしたが、早速手話講座を開催しました。